

《IM合同例会 講演会》

2017年1月16日 湯本富士屋ホテル



講師ご紹介：原田義之氏（1943年生 72歳） 個人の国際奉仕活動として2008年～現在ダムロン高校ボランティア日本語教師・2009年～現在少数民族・アカ族に対する支援活動開始 人類課題「エイズ・麻薬・人口問題」の根源である少数民族婦女子（特に子供達）の「識字率向上」奉仕を続ける。今日まで9年間アカ族子供寮「夢の家」「若竹寮」「メコーン寮」120人の就学支援のため現地に身を置き奉仕活動中。



国際ロータリー3360地区（北タイ）チェンライロータリークラブ2013-14年度会長を務めた私は国立ダムロン高校でボランティア日本語教師を。報酬を一切絶ち8年間「奉仕を行動で」と「無欲の奉仕」を実践中。更にミャンマー、ラオス、タイ国境ワヴィ村アカ族子供寮の子供たちに「就学と識字率向上支援」をする。/アカ族は、アカ語を話す。学ばなければ母国語・タイ語は使えない。子ども達は家庭的、経済的事情で就学は、困難。人生を誤り麻薬の運び屋・売春・エイズキャリアー等の「悪の予備群」に足を踏み出す子もいる。その子達に「識字率向上支援」を決意した。 *23年前、バンコクのホテルで見たテレビ *脳裏に越後長岡藩「米百俵」話しが過ぎる *「輝く瞳」から科学を、世界を、知識を *15年間36小学校に図書配布の陰で *低識字率が「悪の予備軍」を生む *「奉仕の行動で」に人生の舵を取る *昼は日本語教師講座受講、夜はタイ語教室通い *歴史的背景がアカ族にマイノリティーの影を落とす *低識字率が「悪の予備軍」の温床に *子供たちを「悪の予備軍」から救う道は *「世界に平和な時代を」と望むなら *だから私は北タイの子供たちを助けます *識字率向上支援 *就学環境支援 *生活&医療環境支援 *アカ族子供自活サイクル支援 *水プロジェクト支援 *日本語&日本文化体験支援 *教え子の日本留学支援
☆北タイ貧困を著書に「輝く瞳に会いに行こう」出版社 幻冬舎ルネッサンス「続・輝く瞳に会いに行こう」が3月刊行予定。

